

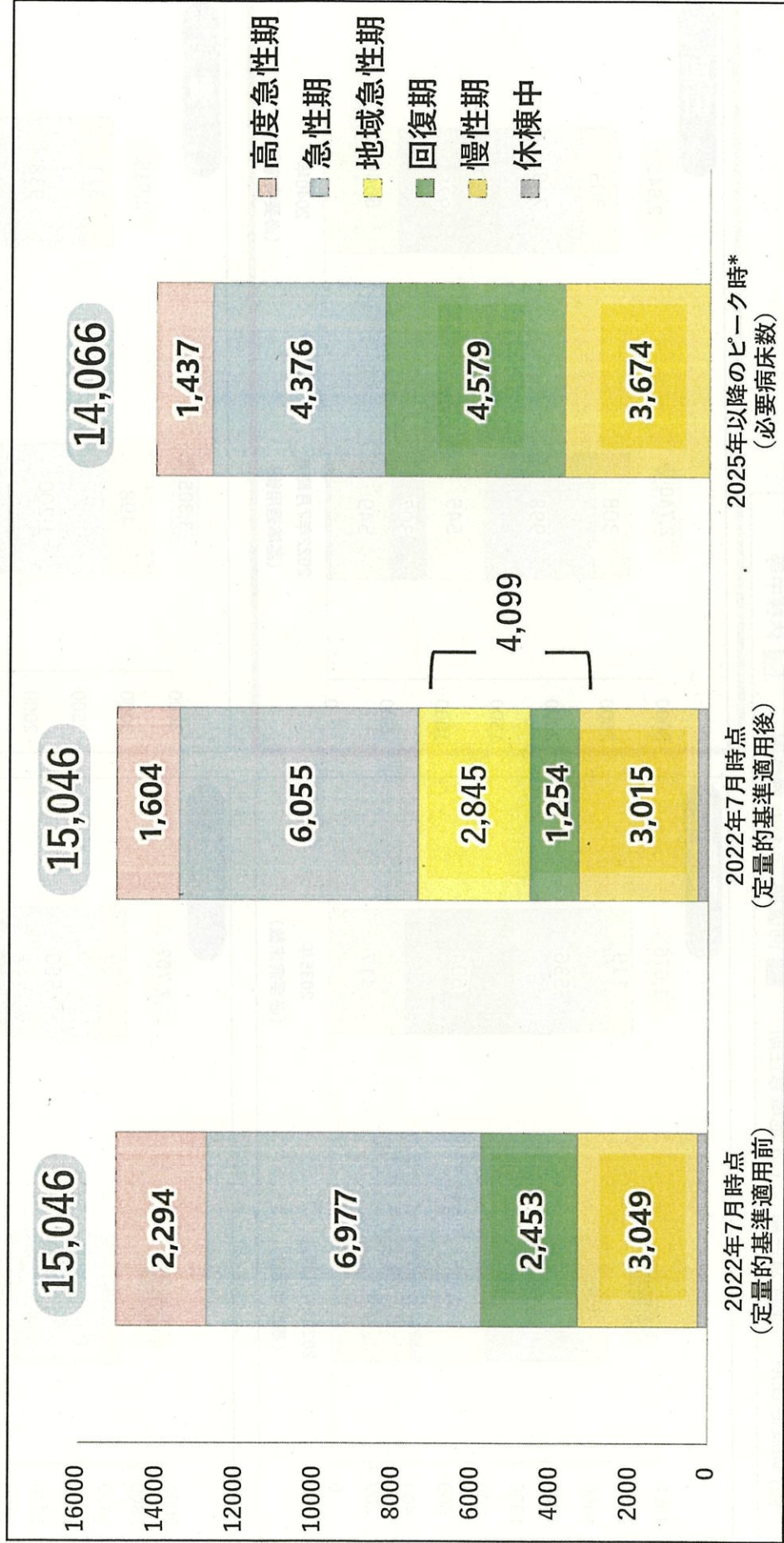
「公立病院経営強化ガイドライン」への対応について

第三期中期計画変更案への質問に対する回答

項目	質問 及び 回答
<p>前回資料6-2 (今回資料では1-2 になりますが内容は同 じです。)</p> <p>1ページ 1(3) 『令和7年及び令和8 年度における当該公立 病院の機能ごとの病床 数』</p>	<p>三重県の地域医療構想で定められている三河地区の病床数の記載について、資料6-2では、「各地区の機能ごと病床数」のみが記載され、「各病院の機能ごとの病床数」は明確に示されていない旨記載されています。</p> <p>現状の三重県の地域医療構想における「各地区の機能ごとの病床数」と、「各病院の機能ごとの病床数」を合算したものの、との間にどれくらいの乖離があり、どの機能の病床数を増やしていかないといけないのか、分析されているようなものがありましたら、教えてください。</p> <p>【回答】 別添資料により説明させていただきます。 ※「令和4年度病床機能の現状について」(三重県資料)の抜粋</p>
<p>前回資料6-2 (今回資料では1-2 になりますが内容は同 じです。)</p> <p>2ページ 2(1) 『がん放射線治療のべ 患者数の追加』</p>	<p>【質問】 「放射線治療_のべ患者数」を追加されています。1回あたりの照射量を増加し、照射回数を減らす方向になった実態に沿った対応と思われます。資料6-2の変更概要の「放射線治療件数」及び「のべ患者数」の推移をみますと、「1患者数あたり治療件数」は、減少傾向にあり、R4年度は14.6まで減少しています。</p> <p>中期計画に記載の「放射線治療件数」4,200件及び追記の「のべ患者数」225人からしますと、「1患者数あたり治療件数」は18.6となり、4,200件というのは実態にそぐわない目標値になってしまっているのではないかと考えられます。指標の変更は難しいのかもしれませんが、実態に即した目標値とした方がよいのではないかと考えます。</p> <p>【回答】 5年間の中期計画の目標である「放射線治療件数」については、計画2年目で修正するのは適切ではないことから、実態を踏まえ、今後追加する「のべ患者数」目標の達成に向け取り組んだ上で、さらに「放射線治療件数」の目標達成に向け努力していきたいと考えています。</p>

令和4(2022)年度定量的基準の適用結果(県全体)

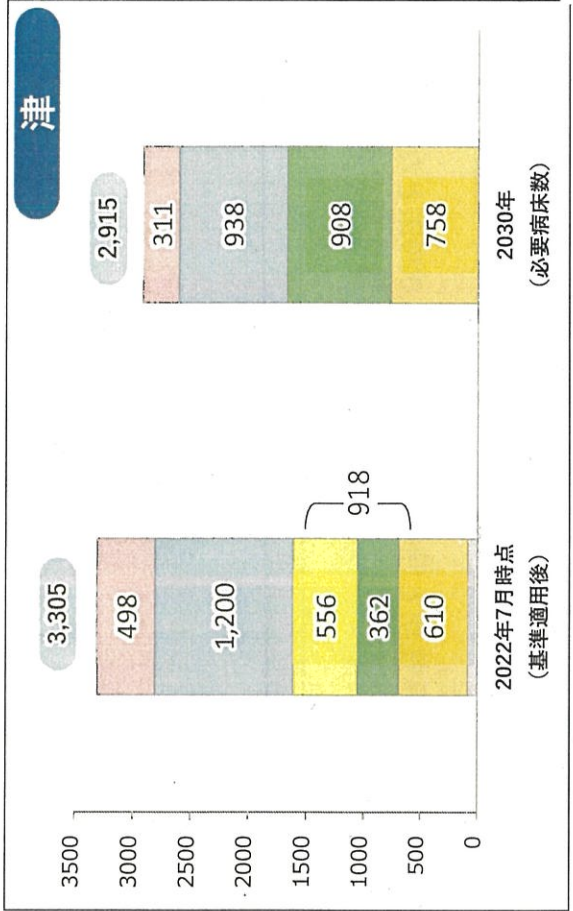
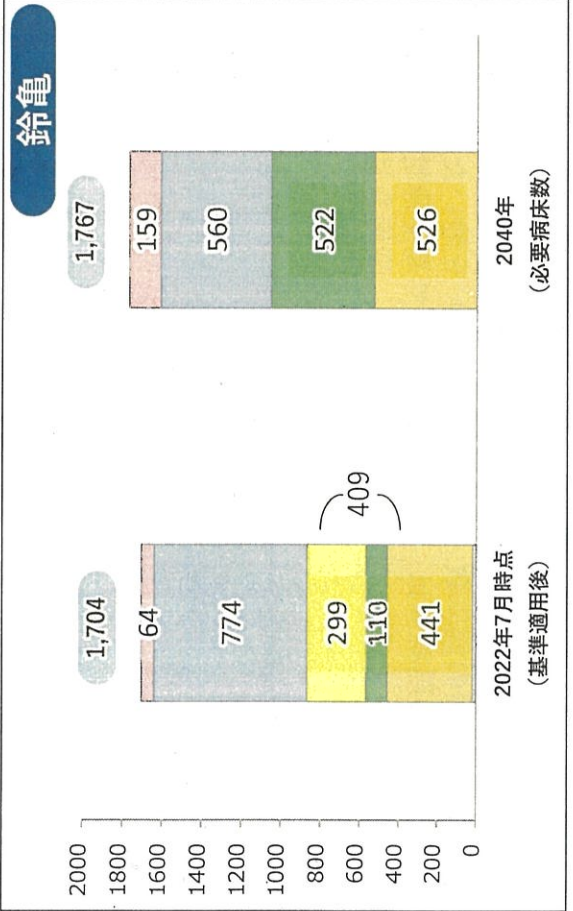
- 令和3(2021)年度病床機能報告にアンケートによる最新の状況を反映した本年7月1日時点の病床数に対して、医療型障害児入所施設等の病床数(県全体:364床)を除いた上で、定量的基準を適用した。
- 県全体の適用結果は、適用前と比較して高度急性期と急性期が減少し、地域急性期と回復期を合わせた4,099床となった。
- 必要病床数(ピーク時)と比較すると、高度急性期は167床、急性期は1,679床の過剰、回復期は480床、慢性期は659床の不足となった。



*2025年以降の医療需要のピーク時(三泗、鈴鹿区域が2040年、桑員区域が2035年、津、伊賀、松阪区域が2030年、伊勢志摩、東紀州区域が2025年)における必要病床数の合計値。

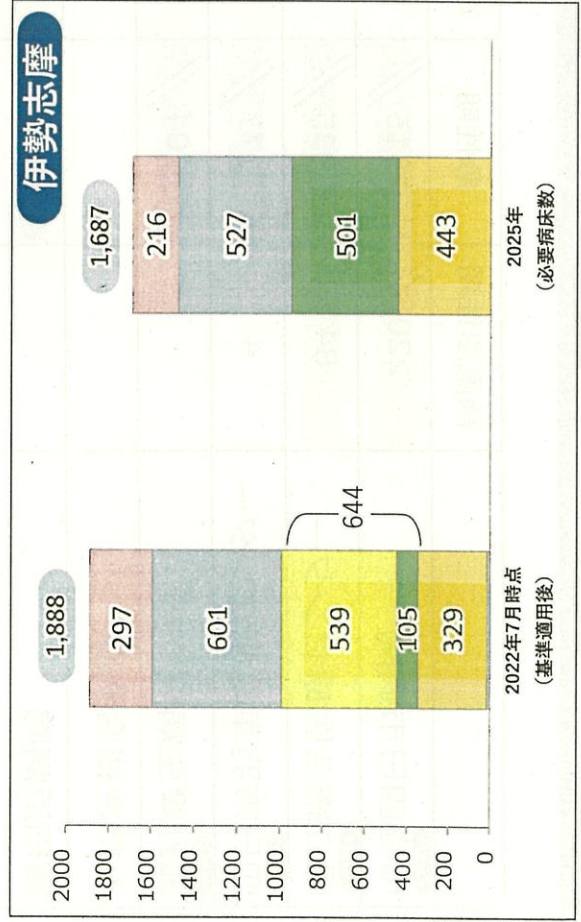
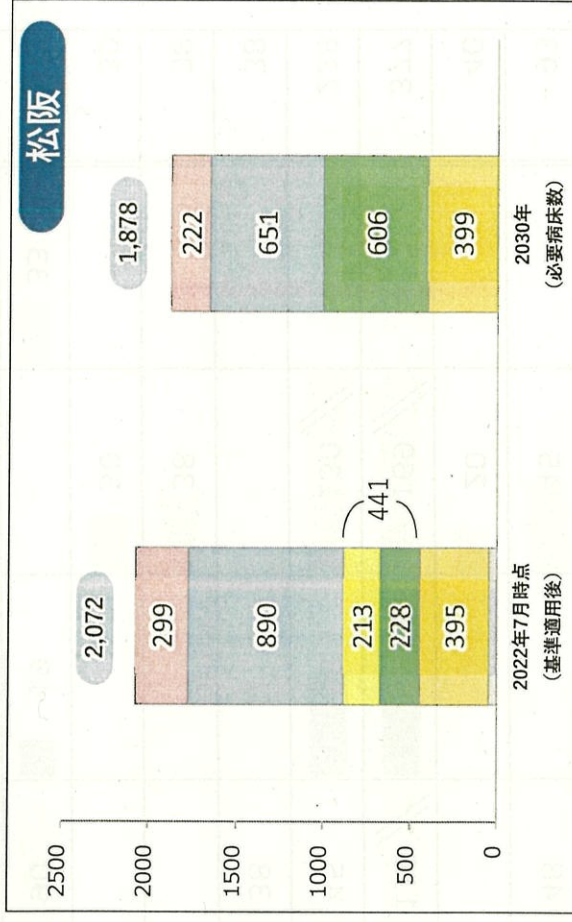
令和4(2022)年度定量的基準の適用結果(構想区域別①)

- 高度急性期
- 急性期
- 地域急性期
- 慢性期
- 回復期
- 慢性期
- 休棟中等



令和4(2022)年度定量的基準の適用結果(構想区域別②)

- 高度急性期
- 急性期
- 地域急性期
- 回復期
- 慢性期
- 休棟中等



医療機関別定量的基準の結果（三泗区域）

医療機関	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
公立 市立四日市病院	220	315					535
公立 県立総合医療センター	84	335					419
公的 四日市羽津医療センター	4	177	45				226
公的 菰野厚生病院		104	42	41	43		230
みたき総合病院			81	44	74		199
富田浜病院		47	43	55			145
山中胃腸科病院			48		45		93
四日市消化器病センター		20			20		40
小山田記念温泉病院			113	95	169		377
主体会病院			45	53	130		228
石田胃腸科病院			38				38
水沢病院					38		38
四日市徳洲会病院					30		30
有床診療所			90	19		33	142
合計	308	998	545	307	549	33	2,740